

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 9 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	毎日の支援が出来ているが、玄関にカギをかける時間をつくる。	玄関にカギをかけないで、自由に出入りできる時間をつくる。	家族の方から、玄関にカギをかけて頂いていることによって、安心していているという意見も上がっているため、家族との意見交流をしながら、取り組んでいく。	1年
2	10	利用者や家族の意見の交流の場を持つ	個別には、家族懇談会はしているが、ホーム全体での話し合いをする。	事業所からのお知らせ等で、事業所の行事参加で、家族同士が交流出来る場を設けていく。自然な形で、家族会が出来ればと考えています。	6ヶ月
3	35	災害対策の件で、居室の窓の開閉について。	年に2回実施している消防訓練を、地域の人達にも参加して頂ける様に考え、災害等では、協力を求められるような体制作りをする。又窓の開閉制限については、消防法の法律があるので、難しい点がある。	消防訓練の案内を婦人会を、参加を呼び掛け、災害の時には、協力して頂く体勢作りをする。窓の開閉は、消防法の法律基準があるが、今後検討していきたい。	2ヶ月
4	52	集団生活の中で、時には一人で息つく場を確保する。	椅子やソファの配置の工夫をして、ホットする居場所をつくる。	限られた空間の中で、ホットする場所をつくりは、リビングと食堂の場を、しきる空間づくりをして、模様替えをする。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。